

角田市第6次長期総合計画策定経過

年月日	項目	内容
令和元年8月28日	角田市長期総合計画審議会条例の一部改正	角田市議会第398回定例会で議決 (角田市議会からの就任辞退の通知に基づき、審議会委員の規定から「市議会議員」を削除したものの。)
令和元年8月30日	角田市長期総合計画条例制定	角田市議会第398回定例会で議決
令和元年9月17日	角田市第6次長期総合計画策定に係る調査・分析等業務委託契約締結 (期間：令和元年8月18日～令和2年8月30日)	【業務内容】 ①基礎調査・分析 ②市民意識調査・分析 ③施策の評価・検証
令和元年10月16日	※RE S A S (地域経済分析システム) 職員研修会	※令和元年東日本台風災害の影響により中止
令和2年1月24日	角田中学校地方財政教育プログラム	東北財務局職員が講師となり、角田中3年生が、「角田市長になったつもりで」予算編成のシミュレーションに挑戦。市の将来像を念頭に歳入・歳出予算のやりくりを考え、班ごとのテーマに沿って発表を行いました。
令和2年2月6日	角田中学校地方財政教育プログラムの結果をまとめた「未来の市長」からの意見書を大友市長へ提出	代表の生徒から大友市長に、当時のまとめを手渡ししながら、「お祭りを開催して人を呼び込む」「子どもの遊び場を整備して子育て世代に優しいまちにする」などの頼もしい意見を交わしました。
令和2年3月5日	角田市第5次長期総合計画基本構想の変更 (計画期間の1年延長)	角田市議会第401回定例会で議決 (令和元年東日本台風災害の影響により、着手予定であった第6次長期総合計画の策定作業を予定どおり進めることが困難となったため、第5次長期総合計画の計画期間を1年延長し、令和3年度までとしたもの。)
令和2年3月24日	※RE S A S (地域経済分析システム) 職員研修会	※新型コロナウイルス感染症対策を考慮し中止
令和2年3月26日	角田市第6次長期総合計画策定方針の決定	市長決裁
令和2年4月1日	第1回角田市長期総合計画策定本部・幹事会	第6次長期総合計画策定方針について説明
令和2年7月21日	角田市第6次長期総合計画策定支援業務委託契約締結 (期間：令和2年7月21日～令和4年3月31日)	【業務内容】 ①作業スケジュール作成 ②会議運営支援 ③トップインタビューの実施 ④市民参画に関する取組の実施支援 ⑤計画書素案作成支援・印刷
令和2年8月25日	角田市議会全員協議会	第6次長期総合計画策定方針について説明
令和2年8月27日	第2回角田市長期総合計画策定本部・幹事会	・経過報告 ・第6次長期総合計画の策定体制について
令和2年9月2日	第1回角田市長期総合計画審議会	・経過報告(策定方針、策定経過等) ・諮問 ・会長、副会長の選任 ・第6次長期総合計画の策定について等

年月日	項目	内容
令和2年9月15日	「RESASを活用した施策立案プロジェクトチーム」立ち上げ	・ 構成員の任命 ・ 今後の方針等について
令和2年9月23日	第1回市民福祉専門部会	・ 第6次長期総合計画策定方針 ・ 第6次長期総合計画の策定について
令和2年9月30日	第1回教育専門部会	・ 第6次長期総合計画策定方針 ・ 第6次長期総合計画の策定について
令和2年9月30日	第1回産業建設専門部会	・ 第6次長期総合計画策定方針 ・ 第6次長期総合計画の策定について
令和2年9月19日	第1回総務専門部会	・ 第6次長期総合計画策定方針 ・ 第6次長期総合計画の策定について
令和2年10月2日	RESAS活用研修会	・ EBPmの実践に向けて ・ RESASの概要、データ説明、活用事例 ・ 参加者：58名
令和2年10月2日	RESAS活用施策立案PT打合せ	東北経済産業局の職員との打合せ（今後の進め方、当面の作業について）
令和2年10月5日	市長トップインタビュー	・ 第5次長期総合計画について ・ 角田市の「将来像」及び「将来の都市像」の実現のために検討している課題や施策等について ・ 「所信表明」における5つの重点目標について ・ 「ウィズコロナ」の取組について
令和2年10月13日	第1回角田市長期総合計画策定専門部会合同会議	・ 基礎調査の分析検証 ・ 市民意識調査、施策評価の分析検証 ・ 人口ビジョンを踏まえた課題整理 ・ 専門部会における作業の概要
令和2年10月19日	第3回角田市長期総合計画策定本部・幹事会	・ 基礎調査の分析検証 ・ 市民意識調査、施策評価の分析検証 ・ 人口ビジョンを踏まえた課題整理
令和2年11月4日	第2回角田市長期総合計画審議会	・ 基礎調査、市民意識調査、施策の評価の分析検証結果 ・ 人口ビジョンを踏まえた課題整理
令和2年12月3日 ～24日	事業者等ヒアリング調査	・ 市内32事業所（団体）に対するアンケート ・ 市内7事業所（団体）に対するヒアリング
令和3年1月13日	第1回かくだワークショップ	・ 概要説明 ・ 座学 ・ ワークショップ（地図・模造紙）
令和3年1月21日	金津中学校財政教育プログラム	東北財務局職員が講師となり、金津中3年生が、「角田市長になったつもりで」予算編成のシミュレーションに挑戦。市の将来像を念頭に歳入・歳出予算のやりくりを考え、班ごとのテーマに沿って発表を行いました。
令和3年1月27日	第2回かくだワークショップ	・ RESASによる角田市の現状分析 ・ 角田市の財政状況及び市民意識調査の概要 ・ 座学 ・ ワークショップ（地図・樹形図・事業一覧）
令和3年2月10日	第3回かくだワークショップ	・ 座学 ・ 地図、樹形図、事業一覧をもとに企画書の作成 ・ 発表に向けた話し合い

年月日	項目	内容
令和3年2月22日	金津中学校財政教育プログラムの結果をまとめた「未来の角田市長から現在の角田市長への提言」	1月21日に開催された財政教育プログラムにおいて、角田市長の立場になって地方財政、予算案、新しい地方税等について検討を行い、角田市の財政を考察した結果を提言書として提出し、意見交換を行いました。
令和3年2月24日	第4回かくだワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・企画書の育て ・発表企画の話し合い ・発表会 ・講評
令和3年3月12日	第4回角田市長期総合計画策定本部・幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・トップインタビューの結果 ・事業者等ヒアリング調査の結果 ・「かくだワークショップ」の結果 ・本市の都市像について
令和3年3月12日	RESAS活用施策立案PTによる中間発表会（庁内）	<ul style="list-style-type: none"> ・RESASによる角田市の現状分析 ・角田市の強み・弱み・機会・脅威 ・導き出した課題・仮設 ・ロジックツリーと要因分析 ・注力テーマの設定



未来の角田市長から現在の角田市長への提言

～持続可能な都市づくりを目指す角田市を目指して～



令和3年2月22日

角田市立金津中学校

令和3年2月22日

宮城県角田市長
黒須 貫 殿

角田市立金津中学校
生徒代表 鈴木 陽雄
佐藤なごみ
菊地 遼
指導教諭 畠中 秀夫

「未来の角田市長から現在の角田市長への提言」

令和3年1月21日、本校で開催された東北財務局と金津中学校の財政プログラム教育で、未来の角田市長の立場になって角田市の財政を考察いたしました。つきましては、今後の角田市の市政に少しでも資するものとして、各グループが具体的な地方財政予算案及び、新しい地方税を考え出したものから、模擬投票を行い精選したもの（それぞれ3案）を提言させていただきます。

記

1 提言内容

- (1) Welcome 角田, 住んだら逃さない, 離さない (案)
- (2) 自助, 共助, 公助で地域ごとに協力する角田市 (案)
- (3) 全世代が住みやすい都市, 角田市 (案)
- (4) 自主財源確保に向けた新しい地方税の創設 (3案)
- (5) 補遺「今回の財政教育プログラム」通じて学んだこと

2 現状についての認識

私たち金津中学校3学年は、財政教育プログラムに於いて角田市の急速な人口減少、超高齢社会、市政運営や自主財源確保の難しさを学びました。将来、宮城県の多くの自治体が消滅可能性都市になること、当該都市に角田市も含まれることを危惧しています。

3 提言理由

上記の現状の認識を踏まえ、現在角田市長である黒須貫殿に、未来の市長となる私たちの世代から、「持続可能な都市づくりを目指す角田市」を実現させたいと思い、未熟ではありますが東北財務局様、金津中学校の先生方のご協力を得て提案させていただきます。

4 期待される政策の実現, 財政の行方

可能な限り、人口減少を食い止め、活気のある都市づくりを目指した財政を考えました。シミュレーションによる歳出、歳入の諸項目をよく見直し、地道に、泥臭く取り組んでいく必要があると思います。政策の実現は可能であると思いますが、思い切った財政を組まないと実現は難しいです。

5 添付資料

提言内容(1)から(4)までの具体的内容と、(5)補遺「今回の財政教育プログラム」を通じて学んだことを添付させていただきます。何卒ご検討のほどよろしくお願いいたします。

以上

【別紙】提言内容（１）「Welcome 角田，住んだら逃さない，離さない。」

提言者 鈴木 陽雄

私たちのグループでは，歳出に関して，子育て，公共事業，農林水産・商工業について予算を増額させたいと考えています。子育てを応援するために，主に出産手当や医療費の無料化，保育料の無償化，出産祝い金の増額を考えました。さらに，廃校舎を屋内遊び場として改装（約２億円の支出）し，毎年の角田市の出生数を約３００人まで上げたいと考えています。

公共事業では交通の便を良くして，通勤・通学や観光客の呼び込みをやすくします。政策の目玉としては，①角田インターチェンジの新設（約１０億円の支出）があります。

また，②大型ショッピングモールを誘致すること（約３０億の支出）で周りの地域から人が集まり，経済活動が活発になることが予想されます。（①と②は必ずセットであることが条件）まずはどんどん角田に来てもらい，魅力を知ってもらうことです。

プレゼンテーションの質疑応答で，富谷市や名取市，仙台市のイオンや SEIYU，アウトレットモールと競合しないか？という意見も出ましたが，競合に打ち勝つ魅力ある商品を展開し，角田の地場産品をしっかりと PR することで，住んだら逃さない，離さない角田につながると考えます。つまりリピーターも確実に増やすことで，角田市の財政が大きく関わってきます。

歳入に関しては，新しい地方税として５つの「め」税等で市民税を上げます。また，固定資産税として大企業の法人税を上げ，税収は CO₂削減などグリーン政策（EV 車購入の補助等）に充てます。

シミュレーションによると将来の人口減少問題について，約２０年後は令和２年度よりおよそ４０００人増える見込みですが，約４５億円の借金を新たに抱えることになるので，国からの交付税や国庫支出金等に頼らなければならないのが現状と考えました。

提言内容（２）「自助，共助，公助，地域ごとに協力する角田市」

提言者 佐藤なごみ

私たちのグループでは，歳出に関して，子育て，公共事業，教育の予算等を増額し，歳入はなるべく現状維持する方向で予算を組みました。まず，子育てに関してですが，出産祝い金を子供の人数に比例して１０万ずつ増額する。保育料を有償化する代わりに，児童手当を増額することを検討しました。

私たちの目玉政策の１つは，今の市役所を建て替え，角田市の顔とし，市役所に行けば角田の取組が一目で分かる，ちょっと寄りたくなる市役所をつくることです。市民と共に都市づくりを目指し，市民との親近感を大切に，もっと濃密にしたいと思います。また，地域ごとに補助金を配り，避難所や街頭の整備など地域に必要なものを自分たちで考えて問題を解消していくようにします（自助）。教育に関しては，スクールバスの整備以外に，旧小学校跡地に天文台を建設し，校庭の桜を残し，公共施設として生まれ変わらせたいと思います（共助）。

一方，歳入ですが，まずは現状維持で依存財源（公助）は良いと思います。コロナ禍なので，国も余裕はないと考えるからです。公助に頼らないとすると，例として，角田市が独自に再生可能エネルギーを使って利益を出すような仕組みをつくるのが良いと思います。ソーラーパネルの設置，休耕地，空き地の利用について地域住民が協力し（自助，共助），「売電」して利益を出すことで環境にも配慮した持続可能な都市づくりを目指すことができると思います。

最後に将来の人口減少についてですが，少しずつ減るのは仕方がないと思います。だからといって高齢者を見捨てず，一人一人（自助），地域が一つになって（共助）支え，町を若返らせることが目標です。角田市の借金は令和２年度より３億円増え，２０年後の２０４０年までに約４４００人減少してしまいます。堅実な予算を組みましたが，年間２２０人前後の人口流失及び現象は止められないのが現状だと考えます。

【別紙】提言内容（3）全世代が住みやすい都市，角田市

提言者 菊地 遼

私たちのグループでは、歳出予算として、子育て、高齢者・障がい者支援、市の運営、農林水産・商工業について予算を考えてみました。子育てに関する支援として、出産手当、医療費の無料（高校生まで）、保育料の無償化、児童手当の増額、出産祝い金を出すことで、子育てに関する支援を手厚くし、家族で住みやすい都市づくりを目指します。高齢者、障がい者支援では、自立支援や介護支援をもっと企業にお願いします。障がい者雇用、雇用調整助成を拡充してもよいと考えます。年金も少し増額します。

市の運営については、議員や公務員の給料を状況に合わせて上げ下げし、調整することはやむを得ないことだと思います。

農林水産・商工業では、コロナ禍でテイクアウトできる事業は活性化できると思いますが、元の業態に戻るのには難しいと考えました。そこで、中小企業支援、農業施設の整備、道の駅の利用拡充対策、大型工業団地の整備・企業誘致で子育て世代、働く世代も住みよい都市づくりをしたいと思います。

歳入予算についてですが、市民税、固定資産税については少しずつ市況を見ながら暫時引き上げ、国庫支出金、交付税交付金は大型工業団地・企業誘致の整備に充てたいと考えています。企業が活気づいてきたところを見計らって、法人税や固定資産税を少しずつ増額していきたいと思っています。

将来の人口減少問題は、シミュレーションでは令和2年度より20年後には約3500人増えますが、新たに約50億円の借金を抱えることになるので、国からの依存財源に現状では頼ることは仕方がないと考えます。

提言内容（4）自主財源確保に向けた新しい地方税の創設（3案）

提言者 鈴木 陽雄

1) 5つの「め」税

角田市の特産品である「米」「梅」「豆」「夢」「姫」を実際に「食」と「歴史」と「未来」でつなぐ町づくりの実現を目指す。角田市の特産物を買ったら、税を取るが、その税は今現在の、または新しい特産物の資金にする（生産・販路拡大や品種改良等）。角田市民であれば安く購入できるようにし、地産地消を促進する。また、体験型農業を実施し、未来の農業従事者の育成資金に充てる。市外から来た人には、歴史館等の公共施設入館料、使用料から税金を取り、施設の充実に充てる。

2) 金津七夕存続税

「金津七夕」を国の重要無形民俗文化財として保護するために、観光税として取る。観光税は存続の基金にする。姉妹都市からの小中学生を招待し、体験してもらい、少子化による後継者不足を一時的に補う。開催についてはコロナ禍等を想定し、毎年こだわらず、2～3年に一度と幅をもたせる代わりに、十分に準備、宣伝期間を設け、確実な集客を狙っていく。子どもが主体となって祭りを担う地域行事「金津七夕」は全国でもあまり類例を見ない。明るい未来のために、子どもが生き生きとする角田市、地域行事が可能な限り存続していく角田市であると良いと思います。

3) 桜（自然）の名所税

角田市の旧学校跡地等を桜等の名所にする。そこで、苗木、維持管理費などを「桜（自然）の名所税」として納めてもらう。多くの人に募れば募るほど、ある程度広く、管理費も安くは押さえられる。納税者はこの名所を利用することは原則無料（ルールは必要）。観光客の呼び込みに税を利用したい。

【別紙】(5) 補遺「今回の財政教育プログラム」通じて学んだこと

発表者 菊地 遼

私たち金津中学校3学年で行った今回の財政教育プログラムやその後の学習において、「未来の市長として」気づいたこと等をまとめました。

1) プレゼンテーションと模擬投票について

今回の財政教育プログラムでは、7グループで意見を出し合い、プレゼンテーションを行いました。どのグループが未来の市長から現在の市長への提言として相応しいか、模擬投票を行いました。結論として、地方財政や政策内容の善し悪しに関わらず、よく練り上げられた堅実なものやちょっと面白く、勢いのあるものが選出される傾向があると思いました。選挙政治で学習したように、世論やその時々流行、キャッチフレーズで聞き心地の良いものに有権者は左右されることが分かりました。

未来の角田市長として、現状を踏まえながら目玉となる政策を打ち出し、将来の地方財政を考え、消滅可能性都市となることをしっかり伝える「発信力」が必要だと思いました。また、有権者側は、どの候補者が実現可能な政策を企画、立案しているのかをしっかりと見極める、情報リテラシーが必要だと感じました。

2) コロナ禍と地方財政

コロナ禍で歳出と税収の差が大きくなり、さらにワニの口は広がり上顎が外れそうになっています。歳出と歳入のバランスを考えていくことがさらに難しくなりました。かなり大胆な政策を断行しないと、財政基盤の弱い自治体から消滅しかねない状況だと思えます。

3) できることから始めよう、やれることはやってみよう

「持続可能な都市づくりを目指す角田市」をクラスで考えた時、理想を掲げることは簡単ですが、現実的にあらゆる政策を実施することは難しいと思いました。しかし、危機に陥っている以上、いずれ消滅するかもしれないと覚悟を決めて、問題を明確化し、市民と共に消滅可能性都市から脱却することを「公約」とするべきではないかと思えます。また、私たちの「民意」も、「できることから始めよう、やれることはやってみよう」という気構えがないといけないと思えます。7グループ中、4グループで30～50億ほどの借金が出るのがシミュレーションで分かり、私たちは「痛み」をともなう地方財政の改革が必要なが分かりました。

誰かが何とかしてくれるのを待つのではなく、まずは自分たちで動かないと前には進まないと思えました。

以上で未来の角田市長から現在の角田市長への提言を終わります。